

## 第5回加西市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成 22 年 7 月 5 日（月）14:00～15:00

場 所：加西市役所 5 階会議室

### 1. 開会

会長（東郷副市長）あいさつ

### 2. 協議事項

#### （1）平成 21 年度事業報告及び収支決算について

#### （2）平成 22 年度事業計画及び収支予算について

A 委員 委託費（30 万円）の今年度の内容はどういうものか。積算根拠が分からない。

事務局 地域懇談会等を通して運行計画を作っていくことになるが、その地元協議において、他地域での導入実績がある方にアドバイスをいただこうと考えている。4～5 回程度は地元を足運んでいただこうと考えており、全体としての委託料金設定としている。

A 専門委員 このような業務を請負うコンサル業者はないが、これもコンサルタントだと考える。管理技術者程度の料金設定と考えれば違和感はない委託料だと考える。

B 委員 国庫補助金の減額によって事業が縮小となることはあるのか。

事務局 あり得る。

C 委員 補助金の国全体予算が減る上に対象の団体は増えているので 4 割以上減る可能性がある。全体の事業規模を縮小するか、自治体の負担が増すことになる。本事業は事業仕分けで廃止判定となっており、平成 23 年度以降は新しく制定が予定されている交通基本法と合わせて検討されることになっている。状況は流動的。

A 専門委員 全国で進められている事業は均一ではないので事業によって精査内容を変える必要があるのではないか。加西の場合は減額が多いと進められなくなる。国土交通省にも地域の事情を汲んでもらってしっかり調整してもらいたい。

#### （3）公共交通の再編方針（案）について

D 委員 高いというだけでタクシーを排除するのはどうか。タクシーも公共交通

である。活用策は検討したのか。

事務局 休日や夜間の対応はバスでは難しいのでタクシーの役割も重要だと考えている。また、新たな公共交通には事業者としてタクシー事業者も応募できる。タクシー券も研究をしており、今後の検討課題と考えている。

D委員 中富口発着の基幹交通は病院等の施設も回るルートを検討してほしい。

D委員 中富口で乗り換えることによって、住民に過度な負担とならない料金設定をお願いしたい。例えば、網引から鉄道とコミバスを乗り継いで行く人と万願寺から中富口で乗り換えて行く人との負担を考慮しながら設定してほしい。

E委員 市街地に来るのに地域によって金額に差ができないようにすべき。乗り継ぎがあるが、従来と同じような料金設定で運行できるよう検討しているのか。

事務局 現時点はスタート地点なのでこれから。乗り継ぎは大きな課題なので負担に配慮しながら、神姫バス、NPO、運行事業者と協議したい。

F委員 高齢者に負担をかけない運行を考えたい。

G委員 ダイヤや料金設定を使いやすいものにしてほしい。

### (3) 事業者の公募(案)について

H委員 (2)の の2点目「国土交通大臣から道路運送法第21条第2項の規定に基づく許可を受けている者」は、本事業を採択した上で許可を受けることになるので、表現を変更しなければならない。

## 3. その他

(1) 次回協議会の開催について  
事業内容が固まり次第開催する。